

## 05. クアラルンプールの高層ビル



空港から市内に向う途中、日本の都心部と変わらない光景が目に入ってきた。交差する高速道路、高層ビル群を見ながら市街地に入っていった。その中でも目を引くのがシーザー・ペリ設計のペトロナスツインタワーである。マレーシアは、イスラム教徒が多く、モスクをイメージして形作られている。施工は、ツインの1棟が、日本のハザマ、もう1棟が韓国、中間のブリッジは、フランスの建設会社によるもの。ツインタワーとしては、世界一を誇るこのタワーは、クアラルンプール（マレーシアとしても）のランドマークとなっている。実際街中のどこからでも、TOP は見ることができる。夕食を終え、霧雨の中ライトアップされ、モヤに浮き建つツインタワーの美しさに魅了された。

街中の高層ビルは、全て高層部に色々なデザインが、施され見ていて楽しく、興味関心させられるが、反面、あまりにも個性的な建物が多いので、調和された街並みとしては、考えさせられる。ただペトロナスツインタワー同様に建物は、ツインタワーが多く見られ、幅広の形体にせず空を塞ぐ事をしていない分、あまり圧迫感は無く、多少、2棟並ぶ事で、配慮されている様な気がした。(?) ガイドさんに聞くとマレーシアでは、地震が無いので、高層ビルが建て易いが、もし震度1~2程度の地震でも甚大な被害が生じるだろうとの事。日本と違い地震が無い分、高層の建物、下層部の商業施設には大部分が巨大な吹抜け空間を設けていて、空間デザインを、十分楽しめた研修旅行だった。